

暮らしを支える、バス乗務員

通勤や通学、買い物など、私たちの日々の生活を支える路線バス。
Uターン後、バス乗務員として働く方に、お話を聞きました。

道北バス
ありま たけし
有馬猛史さん

最も大切にしていることは、お客様の安全と安心

30代後半まで旭川に住んでいましたが、転職のため岡山県浅口市へ移住。昨年、高齢の両親の元で暮らそうとUターンを希望し、道北バスへの入社を決めて10年ぶりに旭川へ戻りました。入社後、約1か月で大型二種免許を取得し、現在は市内を中心とした路線バスの運行を担っています。これまで普通乗用車しか運転したことがなかったので、お客様を乗せた大型バスでの安全運転がいかに難しいかを実感しながら、日々の業務に励んでいます。

運転席からまちの風景を見てみると、通っていた学校や変わらぬ街並みに懐かしさを感じます。幼い頃から慣れ親しんだ旭川は過ごしやすく、仕事も生活も充実した毎日を送っています。



旭川市に転入し、路線バス乗務員として働く方を応援！

市では、旭川市に転入し（Uターンを含む）、乗務員として働く方に助成金を支給しています。

対象 近隣8町（鷹栖・東神楽・当麻・比布・愛別・上川・東川・美瑛）を除く市区町村から転入し、1か月以内に市内の路線バス会社に就職した方

助成額 道外からの転入者＝30万円、
近隣8町を除く道内からの転入者＝10万円

【詳細】都市計画課 ☎25・9851



大型二種免許取得も支援！

路線バス会社では、路線バスの運転に必要な大型二種免許の取得を支援しています。

【お問い合わせ】

道北バス ☎51・0111、
旭川電気軌道 ☎31・5241



熱中症に注意しましょう！

【詳細】保健指導課 ☎25・6365

暑い時期は、熱中症を起こす危険が高まります。
熱中症を予防するポイントなどをご紹介します。

熱中症予防のポイント

外出時は、日傘や帽子で
日差しを防ぐ

喉が渇く前に、
小まめに水分を
補給する

保冷剤や冷たいタオル
などで体を冷やす

長時間外にいる場合は、
日陰などで小まめに休憩する

室内では、カーテン・
扇風機・エアコンを
上手に活用する

高齢者と乳幼児は 特に注意！

高齢者は、暑さや喉の渇きを感じにくく、体内の水分量も少ないため、室内でも注意が必要です。

乳幼児は、体温調節機能が十分に発達していないことに加え、身長が低いことやベビーカーに乗ることで地面と近くなり、大人が感じる以上に高温の環境にいます。



マスク熱中症に
注意しましょう

マスクを着けると、顔に熱がこもりやすく、喉の渇きに気付かないなど、熱中症を起こすリスクが高まります。屋外で人との距離を十分確保できる場合はマスクを外し、マスク着用中は、小まめな水分補給や涼しい場所での休憩を増やすなど、感染防止対策と熱中症予防をしっかりと行いましょう。